# 西宮市の川上ダム撤退について

### 1 2008年2月15日(金)日本経済新聞の内容

- 1) 西宮市が川上ダムから撤退
- 2) 阪神水道企業団から水を確保

# 2 西宮市が川上ダム事業から撤退

1) 西宮市水道事業認可

新旧西宮市水道事業(南部水道分)の比較

(単位:m3/日)

	前認可	変更後				
	(平成4年3月認可)	(平成 20 年 4 月認可)				
阪神水道企業団受水	153, 488	188, 504				
川上ダム	18, 230	0				
その他の水源	86, 650	41, 260				
計	258, 368	229, 764				

# 3 阪神水道企業団から水を確保

1) 阪神水道企業団公報(平成20年4月15日)

平成20年~23年(4ヵ年)の1日最大給水量見込み

(単位:m3/日)

1 /00 = 0   = 0					(   124 • 1110/ 111/
	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	※ 合計
平成 20 年度	672, 381	265, 436	142, 291	47, 892	1, 128, 000
平成 21 年度	672, 381	265, 436	142, 291	47, 892	1, 128, 000
平成 22 年度	666, 381	258, 236	157, 291	46, 092	1, 128, 000
平成 23 年度	653, 381	243, 623	188, 504	42, 492	1, 128, 000
※(増減) 20年度-23年度	<u>-19,000</u>	<u>-21,813</u>	+46, 213	<u>-5,400</u>	0

# 

# 伊賀で計画川上ダム

# 阪神水道企業団から確保

ダム建設事業費を負担し 増えている西宮市への給 局・部に水道水を供給す 西宮、芦屋の四市の水道 て、水利権(取水する権 水量を増やす。この結果、 兵庫県内の神戸、尼崎、 の阪神水道企業団が二〇 「上ダムから撤退する。 | 重県伊賀市で計画中の | 二百立方

に増やす一方、 一年度までに、人口が

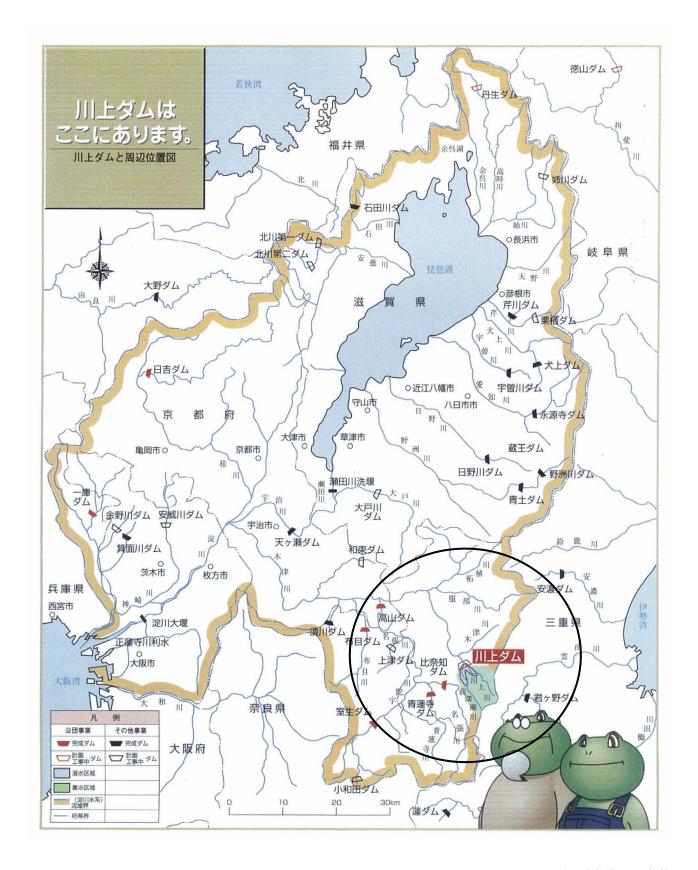
行政法人の水資源機構が | 給水量を一日約四万六干 | 立方が減らす。 西宮市は 兵庫県西宮市は、独立| |はそれぞれ約二万千八一万八千立方どの水利権を|参加者が負担。 利水事業 | 場に集約する。 |神戸市、芦屋市について | 円を負担して、一日約一 | 目的とする治水事業への |水が余っている尼崎市、|二十億円のうち六十七億|参加者と洪水防止などを|場のうち四カ所を廃止 同企業団は西宮市への|百、一万九千、五千四百 川上ダム建設資約千二百 ダム建設費は利水事業 | 使っていた六カ所の浄水

し、鳴尾、丸山の二浄水

も撤退を明らかにしてい 治体が参加する予定だっ 利水事業は西宮市のほか たが、西宮と同様に奈良 奈良県と三重県の計三自 ダムから水利権を得る 九%に増える。 計の負担は七一%から八 | 京都府、三重、奈良県合 |県の負担は一六%から| 業に参加する国、大阪府、 参加者が減るため、三重 一%に減る。逆に治水事 西宮市は井戸水などを

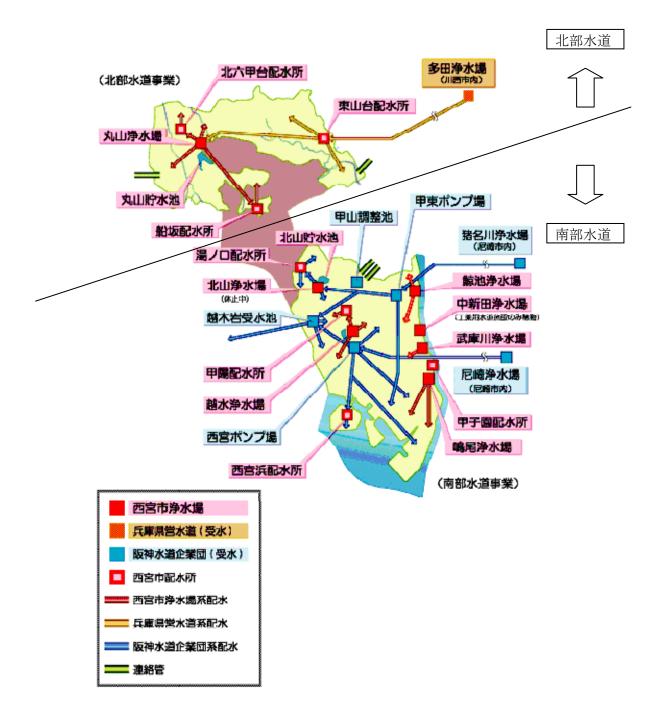
2008. J. NS (A) 日本经济新聞 似面(燧谷本兵车)

利)を確保する必要がな



近畿地方整備局 HP 抜粋

# 西宮市配水系統図



西宮市水道局 HP に加筆